



戦前の沖縄は、本土と同様に自動車は左側通行でしたが、終戦の年である1945年(昭和20年)11月に海軍軍司令第50号「自動車及び交通規則」によって右側通行に変更されました。1972年(昭和47年)の本土復帰後も「沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律」により右側通行が暫定的に続きますが、「一國一方式」の国際条約(道路交通法に関する条約)の遵守などの理由で、復帰から6年後の1978年(昭和53年)7月30日に交通方法が現在のように変更されました。

この交通方法の変更は「ナナ・サン・マル(7・30)」と表示されたポスターや「車は左、人は右」のキャッチフレーズで周知され、実施後は「ナナ・サン・マル(7・30)」が事業の通称となりました。

写真はナナ・サン・マルの前日、1978年(昭和53年)7月29日の国道58号の様子です。



お問い合わせ 公文書館 ☎982-7739

公文書館では北谷に関する資料を収集しています。資料の種類や新旧に関わらず、ご寄贈や情報提供などのご協力をお願いします。